

# 2018年度 最終 1月

## 難関大本番レベル記述模試

### 日本史B・採点基準 記述・記号部分

#### ◆共通の原則◆

1. 漢字で書くべき用語（語句）のひらがな表記には得点を与えない。また、ひらがなで書くべき用語（語句）の漢字・カタカナ表記にも得点を与えない。
2. 判読しにくい文字についてはできるかぎり善意に解釈して採点する。
3. 部分点は設けない。
4. 「漢字○字で」と指示した設問に対して『』を加えて字数を一致させた答案を示した場合、『』は漢字ではないなどの理由から不正解とする。  
事例) 「漢字5字で」… ○建武年間記 ×『建武記』

- 1 仏教の歴史（2点×10=20点）
- 2 原始～中世の商業（2点×5=10点）
- 3 中世・近世の対外関係（2点×10=20点）
- 4 幕末～大正期の史料（2点×10=20点）
- 5 沖縄の歴史（2点×10=20点）

\*注意事項・許容解など  
特になし。

# 論述部分

## ◆論述問題・添削記号◆

難関大本番レベル記述模試・日本史Bの採点では、次のような添削記号を用いています。

- |                       |             |
|-----------------------|-------------|
| 1. <□□□□>             | 加点要素        |
| 2. □□□□<br>~~~~~      | 表現に難あり      |
| 3. □□ <sup>∨</sup> □□ | 文要素の欠落／脱字   |
| 4. □□ <sup>×</sup> □□ | 誤字（略字を含む）   |
| 5. □□□□ <sup>x</sup>  | 内容に誤りあり     |
| 6. 「□□□□」             | 設問要求に答えていない |

## ◆論述問題・共通の基準◆

1. 採点基準においては加点要素を、**3点**のものは太字・アミカケ□□で、**2点**のものは二重線□□で、**1点**のものは下線□□で、それぞれ示している。採点に際しては常に前後の文脈に留意する（◎で示した事項、（ ）内に示した事項に内容が反していないかを確認する。許容する事例や例外的対応などについては※で示してある）。
2. 加点要素の要件を一部しか満たしていない箇所については、それぞれの配点未満の得点を与える。（太字・アミカケ□□→**2点**以内、二重線□□→**1点**、下線□□→**0点**）
3. **歴史用語**（赤字で表示）についての誤字、当て字、漢字で記すべき語句のひらがな・カタカナ表記は、それが加点要素に直接関係する場合、**1点減点**。カタカナで記すべき外国名の漢字1文字の表記は、単独でもちいる場合、**1点減点**。同一語句・文字がくりかえし誤っている場合は、それぞれを減点の対象とするのではなく、まとめて**1点減点**とする。加点要素とは直接関係しない箇所に誤字・当て字があった場合、減点しない。
4. 欄外に設問記号を記した答案や、句読点のはみだしなど字数がわずかに超過している答案は、本番では無効答案になる可能性もある。しかし、受験生の学力を正確に測定するという観点から、あまりにも明白に指定条件を無視している場合を除き、採点の対象とする。
5. 設問によっては加点要素の合計が配点を超えている場合がある。ただし、各問とも配点を満点としてこれを超える得点は与えない。

## 2 原始～中世の商業（論述部分）

### 問2 縄文時代の交易

◆加点要素の合計4点→4点満点◆

◎縄文時代に交易が展開されていた根拠となる石材

- a 黒曜石 …………… 2点以内
- b 和田峠で産出される …………… 1点以内
- c (黒曜石が)産地が限定されているにもかかわらず広い地域で出土している …………… 1点以内

### 問7 室町時代の貨幣経済

◆加点要素の合計6点→6点満点◆

◎室町時代の貨幣流通で生じた懸念すべき問題

- a 貨幣が不足して私鑄銭が出回った …………… 2点以内  
※「私鑄銭が出回った」は1点
- b 撰銭が行われて経済が混乱した …………… 2点以内  
※「撰銭が行われた」は1点

◎室町幕府や戦国大名が出した法令

- c 撰銭令で貨幣流通の円滑化をはかった …………… 2点以内  
※「撰銭令」は1点